



公明党 森しず子 議員

- 1 特別支援教育について
 - (1) 途切れない支援の取組
 - (2) 学校における支援体制の構築
 - (3) 今後の特別支援教育の在り方
- 2 平田野中学校移転に伴う通学路について

質問1(1) 特別支援教育がスタートしてから4年目を迎え、その推進体制と児童生徒数は。

答弁1(1) 本年より保健福祉部に子ども家庭支援室を設置し、途切れない総合的な支援体制を整えた。市内で1,010人の児童生徒が支援を必要としている。

質問1(2) 早期発見と継続的な支援のための学校における取組みの現状と課題について。

答弁1(2) 特別支援教育コーディネーターを中心とした

校内委員会を中心に、23%に止まっている通常学級に在籍する生徒の個別の教育支援計画の作成に努めている。

質問1(3) 今後の特別支援教育は、どのような方向を目指しているのか。

答弁1(3) 自立した主体として平等に社会参加できる※インクルーシブ教育の理念を日常の教育活動に浸透させていきたい。

質問2 平田野中学校移転に伴う通学路はどのような体制でどこまで進んでいるか。今後の取組みは。

答弁2 平田野中学校新校舎建設委員会の中に通学路検討部会を設置し、各小学校区別のグループで検討しており、現在通学路案に基づいて整備が必要な箇所の確認調査を行っている。今後は関係当局に整備の要望を出し、学校長が決定していくこととなる。

※インクルーシブ教育=障がいのあるなしに関わらずすべての子供が地域で共に学び合うこと



政友会 佐久間 浩治議員

- 1 鈴鹿市職員の採用試験の基準は
- 2 入札制度について
- 3 公用施設の管理について

質問1 本年度実施の採用試験の応募状況は。鈴鹿市民の優先採用はできないか。採用後は市内在住の条件をつけるべきではないか。特に消防士などは災害時の緊急出動などを考えて市内在住にすべきでは。

答弁1 不況により公務員人気が高まり応募者は増加している。今年度から年齢要件を緩和した。採用後に在住する事を条件としている自治体もあるが、勤務に支障がないように市内か周辺市に居住している職員がほとんどである。採用後の配属先等の勤務状況に応じて指導等の方法で対応している。

質問2 設計図書の電子化の進捗状況について。

答弁2 設計図書の大部分について、ホームページに掲載する予定。購入証明証の添付は不要にする。ホームページ閲覧環境のない参加業者用に、設計図書の販売や閲覧も、当面は並行して継続していく。このことにより、入札参加業者の経済的負担及び廃棄書類による環境負荷の軽減に資する。

質問3 文化会館、市庁舎、道路等の公用施設の管理をどのように考えているのか。また、本館エレベータの待ち時間の長さや本館喫煙室の換気対策は。

答弁3 緊急性などを考慮しながら年次計画を立て改修、修繕に取組み維持管理に努める。本館エレベーターは3基全体で自動制御し最良のシステムで稼働中。換気は設備投資の是非等慎重に検討する。

意見書について 9月定例会で次の5件の意見書を可決し、関係行政省庁に送付しました。

「義務教育費国庫負担制度の存続と全額国負担」を求める意見書

●義務教育費国庫負担制度の存続および全額国負担とすること
内閣総理大臣・文部科学大臣・衆議院議長・参議院議長に送付

「保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充」を求める意見書

●子どもたちの学びを保障するための保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を行うこと
内閣総理大臣・文部科学大臣・衆議院議長・参議院議長に送付

「『新・教職員定数改善計画』(案)のすみやかな実施と教育予算拡充」を求める意見書

●「新・教職員定数改善計画」(案)のすみやかな実施と教育予算拡充を行うこと
内閣総理大臣・文部科学大臣・衆議院議長・参議院議長に送付

子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書

●子宮頸がん予防ワクチンを無料で接種できるよう公費助成をおこなうこと
内閣総理大臣・厚生労働大臣・衆議院議長・参議院議長・三重県知事に送付

三重県北部地域の都市建設を推進し、雇用拡充や経済の活性化を求める意見書

●三重県北部地域での都市基盤整備に関する各種公共事業を積極的に推進すること

●地域経済を支える地元企業を育成し、地元雇用・地元調達の拡充等による地域経済活性化策を図ること

内閣総理大臣・国土交通大臣・経済産業大臣・衆議院議長・参議院議長・三重県知事に送付